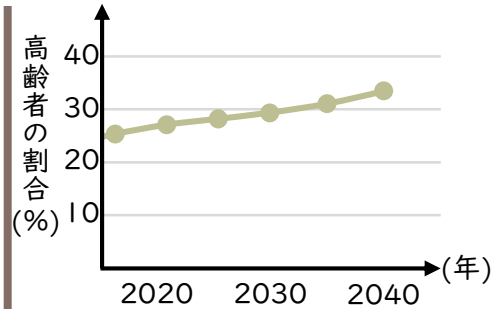


# GPSと生体センサを活用した高齢者見守りサービス

## プロジェクト背景



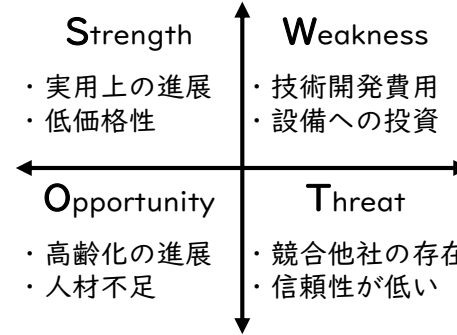
日本は超高齢化社会に突入しており、それに伴う社会問題が深刻化している [1]

- ex) ・徘徊問題  
 ・福祉業界の人材不足  
 ・孤立による孤独死  
 ・災害時における逃げ遅れ

GPSデバイス + 生体センサによる見守りサービスを提案

## 事業展開・市場調査

### 1. SWOT分析



### 2. 事業展開

高齢者とその家族、病院、介護職員を対象として…

- ① 関係各所への売り込み
- ② 産業振興センターとの連携という形で宣伝する。

販売方法としては…

- ① 無料の試用期間を設けた後、
- ② 初期費用、月額利用料を請求する。

### 3. フェルミ推定

日本の高齢者人口は**3627万人** [1]

- ・初期費用 … **5000円**
  - ・月額利用料 … **5000円**
  - ・導入率 … **0.1%**
- と仮定すると、販売初年度の売り上げは

**24億円**

## 商品・サービス

### 1. GPSデバイス



(a) ボタン型

- ・防水性・・・(洗濯が可能)
  - ・省電力性・・・(月に1度の充電)
  - ・量産性・・・(供給が滞らない)
- に優れた製品を開発する。



(b) 織りネーム型

- 衣服との一体化により
- ・デバイスの携帯に対する嫌悪感
  - ・物忘れ
- による**不携帯を防止**する。

徘徊問題の解決

### 2. 生体センサ



(a) 心拍数センサ



(b) 血圧センサ

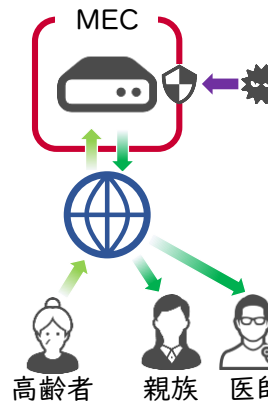


(c) 皮膚温センサ

- ・ユーザーのニーズに応じた生体センサが追加できる
- ・異常時にはアプリを通じて関係者に通知する

人材不足、孤独死問題の解決

### 3. ネットワーク関連



プライバシー保護の観点から、情報は**秘匿性の高いMEC [2]**を用いて管理する。

取得した情報はアプリを通じて家族、介護職員、医師と共有する

- 災害時には、位置情報と生体情報を基に
- ・避難所までの最適経路設計
  - ・人工知能によるトリアージ
  - ・関係者との情報共有を行う

災害時における被害の低減

[1] <https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1291.htm>

[2] <https://www.mec.docomo.ne.jp/>